

経営会議の内容

件 名	「さがみロボット産業特区」の区域拡大に伴う本市の取り組みについて
所 管 部	市民経済部
日時・場所	平成26年 7月28日（月）13：30 ～ 14：00 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、産業活性課長
提 出 理 由	「さがみロボット産業特区」の区域が拡大され、新たに本市が加わったことに伴い、今後の企業支援の方向性などについて庁内の合意を得る必要があるため
会議経過	【主な意見等】 ・地域活性化総合特区は、地域資源を最大限活用した地域活性化の取り組みによる地域力の向上を目的としているが、本市は、さがみロボット産業特区を契機にどのようなことを目指すのか。 （所管部）市内中小企業の作る部品がロボット製作に採用されれば、販路拡大などにつながる。それらにより産業振興が図られることを期待している。 ・市や市立病院からこのようなロボット開発を進めたいというオーダーは可能か。 （所管部）今後、商工会議所と連携して、調査研究機関を立ち上げるので、その中でオーダーを聞くことは可能と考えている。 ・複数の企業から補助の申請があった場合はどう対応するのか。 （所管部）予算の範囲内で複数の企業に分散して補助を行うことになる。 ・調査研究機関にはロボット関連の有識者などを置くのか。 （所管部）メンバーは、商工会議所の工業部会や地域工業会連合会の会員企業を考えている。 ・特区における国の支援や県の支援は関係あるのか。 （所管部）制度としては構築されているが、国の支援はロボット本体を製作する大企業を対象とし、県の誘致策等も工業地域に限定されているので、市内企業にとっては活用しにくいものと捉えている。
会議結果	案のとおり、進めていく。